

令和4年1月号

米沢市在宅医療
介護連携支援センターたより

2022.1.6

センターからのお知らせ
明けましておめでとうございます
今月号も、
米沢版エンディングノート
「おしよしなノート」の普及・啓発。
寸劇や研修会の様子ご感想等を
紹介します。(第2弾)



米沢市マスコットキャラクター
直江兼続/かねたん ©aki okano

～住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けるために～

元気なうちから考えてみませんか おしよしなノートを使ってみよう

期日 2021年11月16日・17日・19日・29日・12月2日

会場 三沢・中部・愛宕・六郷・松川コミュニティーセンター

◆寸劇あらすじ

元気だった主人公(太郎さん)が突然、脳出血で倒れ、病院に救急搬送されました。家族に意思表示していなかったケースと、「おしよしなノート」に意思表示をしていたケース、家族達はどうか対応したかを、社会福祉協議会の相談員と当支援センターの担当で、各会場で演じました。



寸劇の様子

研修会の様子



ご感想等(一部抜粋)

- ・明日は、我が身、家族にも教えてほしい。
- ・母を10年間介護しました。最期は、救急搬送され病院で亡くなった。もしもの時のことを話し合っておくことが大事だった。
- ・エンディングについては、漠然と思っていたが、前向きに考えたいと思った。
- ・ノートに自分の意思を書こうと思った。
- ・家族のために、ノートに「後悔しないで」と書いておきます。
- ・ためになる話でした。延命治療について、理解出来ました。おしよしなノートを書いてみようと思います。
- ・人工呼吸器をつけなくとも、後悔しなくて良いとわかりました。
- ・経験していても、このように実際聞いて、これからノートをつけてみようと思いました。口では言っても書いて残したいなあと思いました。
- ・エンディングノートについては、知っているが書かなくても家族が「何とかしてくれるべ。」と思っている方もいると思います。私は書くべきと思いました。このような講座を皆さんに知ってほしい。
- ・エンディングノートは、家族への配慮なんですね。